



広報

みんなでつくる、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。

びらとり

No.742

2025.

3

令和7年度町政執行方針

3月5日(水)に招集された令和7年第3回町議会定例会において、新年度の町政運営に向け、町長、教育長が執行方針を述べました。その概要をご紹介します。全文は町ホームページをご覧ください。



平取町長 遠藤桂一

昨年7月に皆様のご支援を賜り、平取町長として2期目のスタートを切らせていただきました。1期目は町政運営のテーマを「ゆたかに暮らせるまち、平取町」として各種事業を進めてきました。2期目はそれに加えて「平取（みんな）の夢を未来（あした）につなぐ」というテーマを掲げ、町民それぞれの夢を実現できる地域づくりを引き続き進めていきたいと考えています。

議会、町民の皆様のご理解、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度平取町各会計予算は、第6次平取町総合計画実施計画を基本に編成し、一般会計の総額は74億5,300万円で、令和6年度と比べ7億4,500万円の増となりました。

財源の確保などは、依然として厳しい状況が続きますが、本予算の執行にあたり総合計画でのまちづくりのテーマごとに取り組む所存です。

【アイヌ文化の振興】

令和6年度を初年度とする5か年計画「平取町アイヌ施策推進地域計画」に基づき、主要事業となるイオル再生事業、21世紀アイヌ文化伝承の森プロジェクト事業、大学間連携事業、シシリム力文化大学運営事業などの各種事業を様々な視点からの検証によりさらに充実させ、継続的に進めていきます。

令和7年度から新たな事業として、消滅の危機言語であるアイヌ語を、幼少期から教育を推進する「アイヌ語復興事業」、アイヌ文化の研究や研修等での滞在環境の向上につながる「多目的機能施設」の整備に取り組んでいきます。

また、6年ぶりに「平取町二風谷国際先住民族フォーラム」の開催が予定され、国内外で注目と関心が高まるアイヌ文化の魅力を積極的に発信し、当町の目指す伝承者の育成など、さらに深化した平取町ならではのアイヌ文化の振興、継承を推進していきます。

地域で取り組んできたかわまちづくりの活動が評価され、北海道で初めて「かわまち大賞」を受賞しました。これを契機にアイヌ文化の継承につながる河川敷の活用などを進めます。

【平取高等学校の存続】

令和6年度から全国募集を始めましたが、6名の入学者数にとどまり、地域連携校として令和7年度の入学者が10名に満たなければ募集停止という厳しい状況です。

地域の高校がなくなることで地域の衰退が懸念されることから、高校、行政、議会、町民、外部学識経験者等で組織する「平取高校の魅力化を図り存続させる会」での協議で、入学者の獲得の取り組みを強化した結果、道外、域外からの入学者が昨年度以上に増え、内部進学率も大きく伸び、出願者数は22名となりました。

今後道外、域外からの出願者数の増加と内部進学率の向上を目指すとともに、青少年国際交流事業による海外研修旅行の実施、募集方法の検討、学生の整備など、平取高校の魅力化と存続について対応策の強化を図っていきます。

健康で
楽しく暮らせる
まちづくり

【保健・健康づくり】
心身ともに健康で毎日
を過ごすことは、全ての町
民の願いであり、自分らし
く生きることの基盤とな
ります。

「第1期平取町健康増進計画」は、生活習慣病対策や心の健康対策をはじめとした7つの項目で基本的な健康施策を定め、この取り組みを重点的に進め、町民の健康増進のための生活の質の改善と医療費の適正化を同時に目指します。

健康寿命を延ばすための各種検診の受診率のさらなる向上、令和7年度からは全身健康につながる口腔ケアの取り組みを強化する体制整備をしていきます。

健康なからだをつくり、健康に生きるための基礎は毎日の食事です。「平取町食育推進計画」に沿ってバランスよく食べ、丈夫で健康なからだづくりを目指す食育事業を継続していきます。

【医療】

平取町国民健康保険病院は、地域の基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保に重要な役割を果たしています。今後も町民の生命と健康を守るための病院として、関係機関との連携を強化し、地域が必要とする医療の展開を図っていきます。

病院経営は、医師を中心とした医療スタッフの努力により、令和7年度の医療収益は増額が見込まれますが、人件費や物価の急激な高騰により非常に厳しい状況です。

地域における平取町国民健康保険病院が持つ役割、機能を発揮し、「平取町国民健康保険病院経営強化プラン」に沿った経営の健全化の具体的な方策を様々な角度から検討し、持続可能な地域医療を提供できる病院づくりを進めていきます。

【子育て】

「平取町の子どもが、健やか
に育ち、安心して子育てが
できる環境づくり」を目標に
して、子育て支援を総合的
かつ計画的に取り組んでき
ました。

子育てに対する孤立感や
負担感を抱える家庭への
支援、子どもを生み育て
ることをめぐる諸課題へ
の対応がさらに求められ
ています。



子ども・子育て支援制度に基づき、「質の高い幼児期の教育・保育の総合的な提供」「教育・保育の量的確保」「地域の子どもの子育て支援の充実」などを推進し、平取町の次代を担う子どもたちが健やかに育ち、子どもを持ちたいと思う人が安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めます。

町立紫雲古津へき地保育所が、園児の減少により令和6年度で閉所します。児童数の減少は、民間保育所の経営にも支障をきたすことから、今後の平取町の保育体制について、現実的な方向性を検討していきます。

【高齡者】

高齢者の健康寿命の延伸、自立した生活を送ることができるよう、質の高い保健医療・福祉サービスの提供や安定した介護保険制度を確立するため、関係機関や平取福祉会、企業等が相互に連携し、健康づくりや介護予防に取り組み、体制の強化、支援制度などのさらなる充実を図ります。

2025年問題といわれる地域の高齢化を見据え、いつまでも共に生活できる地域づくりを目標に、町民一人一人の意識の醸成と地域共生社会の構築を目指す各種施策を展開していきます。

【障がい者】

障がいのある方の意向を的確に反映し、地域において必要な障がい福祉サービス、相談支援、地域生活支援事業など各種サービスを含む第1期障がい者プラン」に基づき推進していきます。

平取養護学校高等部の卒業生などを含む障がいのある方が、可能な限り地域での自立を目指すことができる就労の場の拡充と住居などの確保のため、本町グループホーム建設に向けた整備を検討していきます。

【農業】
活力を生む
まちづくり

平取町の主要作物であるトマトをはじめ施設野菜の栽培は、昨今の地球温暖化の影響や資材物価の高騰により、厳しい状況に直面するなか、令和6年度の販売額がトマトは41億円、キュウリは過去最高の3億円を超えています。全国屈指の産地を背景に「びらとりトマト」のブランドは確実に定着しています。

しかし、生産農家の高齢化や離農、働き手の確保ができないなどの理由により、作付面積は減少しています。後継者や新たな担い手、労働力を確保することは重要です。次の世代を担う人材の育成に取り組み、支援制度の拡充等を検討するとともに、人手不足の解消と農作物の品質向上を図るため、スマート農業を推進していきます。

「ひらとり和牛」は、飼料、資材などの生産経費は高止まりが続く、和牛生産にかかると需給動向による消費も低迷し、畜産農家の経営は、今なお厳しい状況が続いています。先人が築いてきた「ひらとり和牛」のブランドを継承するためにも、厳しい時期を乗り越える持続可能な生産体制

づくりに向け、畜産公社や関係農家、農協、関係団体と様々な視点で検討を進めていきます。

酪農・養豚・軽種馬等の畜産振興についても生産者、関係団体との協議連携を基本に支援を継続していきます。

また、国の畑地促進事業による水田の畑地化が急速に進むなか、町内各地域の農業将来像となる「地域計画」が策定されました。今後は計画を基本とした畑地化後の農地の有効活用に向けた流動化や農業施設の効率的な維持管理など、各地域の農業課題等について十分に協議を重ね、対応していきます。

【林業】

森林の有する多面的機能を発揮させるため、適切な森林管理を進め、町有林の循環型経営を確立した事業量の安定化、森林施業の基盤である林道の開設や適切な維持管理を継続していきます。

令和6年度から森林環境税が国税として課税され、森林環境維持のために必要な財源であることが理解されるよう、森林環境譲与税を活用した民有林の間伐推進、作業路の整備など安定した森林整備の推進、人と木や森との関わりを考え、豊かな心を育む「木育」の推進、公共施設な

どの木質化による木材利用の促進を継続的に進めていきます。

林業現場においても担い手不足や作業従事者の高齢化率が高いことから、林業担い手対策事業を継続し、人材確保の取り組みを強化していきます。

また、木質バイオマスの活用を進めるため、地域内の林地残材や未利用材の活用による原料供給体制の進め、地域内経済循環型システムのさらなる構築を目指します。



【商工業】

人口減少、時代の趨勢や消費者の価値観の変化などから、平取町での小売店や飲食店の経営は厳しい現状です。

継続可能な経営を支援するため、後継者対策として事業承継支援制度の創設や小規模事業者の借入利率に対する新たな利子補給制度を設け、町内での起業環境を整備や地域の素材を活用した新たな商品開発なども、商工会等と連携し積極的に進めていきます。

【観光】

観光がもたらす地域への経済効果、雇用の創出やアイヌ文化の振興、定住促進などを期待し、観光関連事業を進めます。

平取町ならではのアイヌ文化体験などによるアドベンチャーツーリズム、すずらん群生地をはじめとした観光資源への積極的な掘り起こしを観光協会のやアイヌ文化振興公社などと連携し推進します。

また、昨年6月「日高山脈襟裳十勝国立公園」が誕生したこと、日高山脈の秀峰、幌尻岳を有し、公園エリアにアイヌ語地名や伝説などが数多く残る平取町として、国立公園化というブランドを活用し、

さらに来訪者や登山客の誘致を図ります。

ふるさと納税は、平取町の魅力向上と新たな商品の開発や特産品のPRと販路拡大のため、体制を拡充し、さらなる自主財源の確保を強化します。



快適に暮らせる まちづくり

【生活基盤】

道路、橋梁、河川、水道、生活雑排水施設などのインフラは、老朽化が顕著になつていきます。整備の緊急度、優先度を十分考慮しながら、事業コストの低減となる工法も検討し、適切な施設整備、維持管理を目指します。

国・道が管理する道路や河川などの整備は、国道237号線をはじめ町内に多くの整備箇所があることから、引き続き関係機関に早期整備を強く要請します。

移動手段の確保は、路線バス、デマンドバス、福祉バスなどそれぞれの役割をもち、運行されているのが、運転士等の人材確保が厳しい現状を踏まえ、より効率的な地域内での交通手段の在り方を検討します。

【防災・消防・救急】

気候変動を要因とする大雨や大規模地震等の自然災害に対する強化が大きな課題です。特に当町で発生する可能性が高い大雨洪水には、沙流川平取地区水害タイムラインに則った行動を効果的に実行するため、町民の防災意識の高揚を目指し、各地域での防災訓練も実施していきます。

消防は、さらなる資機材の充実強化、消防団との綿密な連携に努め、有事の際の適切な対応を図るとともに、救急体制は関係機関との連携を強化し、救急隊員のスキルアップを図り、救命率の向上に努めます。

【住環境】

町内での暮らしや雇用の確保には、住環境の整備が必須の条件となることから、「平取町住生活基本計画」により、公営住宅の整備、住宅の配置適正化の検討を進めます。

民間の賃貸住宅の増設を進めるための支援制度の継続、空き家バンクの充実、空き家の活用など住宅数の確保を図るとともに、良好な景観の形成や倒壊屋等の撤去を進めていきます。

【環境・景観・エネルギー】

「平取町ゼロカーボン推進計画」に沿って、木質をはじめ可能性のあるバイオマスの活用、脱炭素化に向けた取り組みを進めていきます。

びらとり温泉での木質燃料ボイラーの導入についても実現を目指します。

アイヌ文化や農林業を育む自然豊かな平取町らしい景観を将来に継承するため、重要な文化的景観の4次選定に向け取り組みを強化し、町内での建設費が高いため太陽光発電施設の整備に関わるガイドラインなども見直し、景観の保全対策を強化していきます。

みんなで歩む 協働のまちづくり

【協働】

平取町自治基本条例の主旨に則し、町民への情報共有と住民参加により町政の運営を進めます。

人口減少や高齢化により、自治会活動が維持できない状況が懸念されています。各地域での組織の在り方や再編なども視野に、コミュニティの維持継続に向け、自治振興会や関係団体と協議し、方向性や具体的方策を探っていきます。

また、町内でも各分野における人材の確保が深刻な状況です。地域おこし協力隊、集落支援制度等を活用した外部人材の確保のため、

【行政運営】

多様化、変化する住民ニーズに対応できる役場機能の構築と職員の育成に努めるとともに、DX化による住民サービスの向上や事務の省力化、ペーパーレス化などにも取り組めます。

町内の医療や介護、福祉施設や保育所等の人材確保に向け、平取町としても待遇改善等による支援を制度に努めます。



現庁舎（昭和40年完成）

役場庁舎や消防庁舎など改築を考慮しなければならぬ施設等は、利便性や経済性など考慮し、効率的な整備を進める方針やスケジューリングを検討します。

役場庁舎の建て替えの基本構想を令和7年度で策定します。

【財政運営】

令和7年度の予算編成は、人件費、公債費等の義務的経費の増加により、財務的経費への充当する一般投資的経費が不足するため、基金からの繰入額が増加し、令和7年度の繰上額が超えます。

今後、経常経費のさらなる節減と投資的経費の適切かつ慎重な事業選択が必要と見込まれます。

公共事業予算の確保は、地域経済の循環、雇用の確

平取町民憲章

わたしたちは、雄大な自然に恵まれ、未来に豊かな可能性を秘める平取町の町民であることに誇りをもち、力をあわせてしあわせな町をつくるためこの憲章を定めて実行に努めます。

- 1 心身をきたえよく働いて、産業の発展するまちをつくりましょう。
- 2 こどもをすこやかに育て、情操豊かなまちをつくりましょう。
- 3 きまりをよく守り、環境をととのえて明るいまちをつくりましょう。
- 4 自然を愛し、物を大切にする風習のまちをつくりましょう。
- 5 すすんで住民運動の輪を広げ住みよいまちをつくりましょう。

昭和44年11月3日 制定

多様な住民ニーズに限定した財源で最大限の対応を図るため、政策等の選択、施行は極めて難しいものがあります。

議会、町民の皆様と情報を共有しながら様々な課題に向き合いながら解決のための手探り、この平取町を次の世代に引き継ぐための努力を続ける所存です。

力を続ける所存です。の、さらなる支援とお力添えを心よりお願い申し上げます。

教育行政執行方針

「平取町の歴史・風土や文化を愛する心豊かな人づくりをめざして」を基本理念とし、豊かな自然と地理的条件のもと、この地に先住し自然を敬い共生してきたアイヌ民族や先人たちがともに築いた郷土の歴史、文化の理解を深めながら、厳しい社会を生き抜くためのスキルを身につけた人づくりを目指します。

また、人口知能AIやモノ・インターネットIoTなどICT技術の高度化や社会のグローバル化、さらには予測が困難な社会を生き抜くために、新しい時代の学びと働き方への変革の機会と捉え、誰もが

安全で安心な学習機会を得られるよう努めるとともに、地域が持続的に発展できるように、学校と地域、教育委員会が連携協働しながら課題解決を図り、地域創生の力となる教育行政を進めていきます。

学校教育

(1) 学力の向上
全国学力・学習状況調査への参加と町独自で行う標準学力検査の調査結果の分析・検証を速やかに行い、学習活動を「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点から捉え、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組み体制づくりを進めていきます。

(2) ICT教育の推進
GIGAスクール構想により全児童生徒にタブレットパソコンや高速ネットワークが整備され、デジタル教科書などの導入が進み、これらの機器を効果的に活用することが重要となります。教員の活用スキル、児童生徒の機器活用能力の向上を目指し、情報モラルの指導も行います。



教育長 松田拓美

(3) キャリア教育の充実
自己の目標や生き方に向けて、職業や進路に係る体験的な活動を行い、適正の性格や趣味、能力・職業的理解を深め、社会的・職業的自立に向け、発達段階に応じた必要となる能力や態度を育てることが出来るよう取り組みます。

(4) アイヌ文化学習の推進
平取町の重要な財産であり、町の振興発展に欠かせない教育資源でもあるアイヌ文化を、どの地域の児童生徒も深く等しく学べ、郷土の誇りと思うことが出来る学習機会の提供や環境づくりを努めます。

(5) 生徒指導体制の充実
いじめの未然防止と早期発見・早期解消のため、組織的かつ迅速な対応に努め、必要となる児童生徒や支援者への対応には、平取町で採用するスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを有効に活用し、学校と関係機関が連携した組織的な支援を進めます。

(6) 学校給食
児童生徒が食の大切さを理解するうえで、学校給食の果たす役割は大きく、栄養教諭をはじめ給食関係者の衛生意識の向上と管理の徹底に努め、学校給食の安全性の確保を図ります。



(7) 教育施設の環境整備
児童生徒の健康管理が心配される猛暑が続いているため、令和7年度は全小中学校の普通教室に空調設備を強化し、良好な環境で学習できるよう整備していきます。

(8) 部活動の地域移行
部活動の地域移行は、検討委員会を立ち上げ、地域住民への説明会を開催し、教員に代わる協力者を募っています。

また、令和7年度から平取中学校の生徒が平取中学校の部活動への参加が可能になります。今後、日高町や他町と協力し、課題解決に向け協議を行っていきます。

学校の適正配置
少子化の進展を背景とした学校の小規模化が進み、学校規模の適正化および良好な教育環境を確保するため、該当する学校について、令和7年度も協議・検討します。

平取高校の魅力化

令和7年度入学者の出願状況は、昨年の6名から22名となっています。令和6年度では、教育委員会・平取高校・びらとり義経塾が連携し、平取高校における「進学支援とキャリア教育の充実」「生徒の個別ニーズの対応」「青少年国際交流事業の拡大」などを、地元小中学校の生徒・保護者を対象に説明会を開催しました。今後も「平取高校の魅力化を図り存続させる会」と連携しながら施策を講じていきます。

生涯学習

(1) 青少年育成活動
地域住民との関わりや地域における様々な社会体験を通じて成長傾向にあることから、地域社会の一員としての義務や責任を果たすことができる青少年を育成する環境づくりを推進します。

(6) 名勝・記念物の保護と活用

北海道における代表的なアイヌ伝承地であり、独特の地形と自然景観をもつ景勝地として指定された名勝「ピリカノカ」幌尻岳（ポロシリ）・「オキクルミのチャシ及びムイノカ」の保存、普及啓発と活用の推進を図り、町指定天然記念物「すずらん群生地」の保存活用を推進します。

(7) 重要文化的景観の保護と活用

重要な文化的景観「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」を保護活用するため、関係機関との連携による施策を推進します。

文化財等

(1) 二風谷アイヌ文化博物館

貴重なアイヌ文化を伝承する拠点として博物館の果たす役割は重要であり、所蔵資料の適切な管理に努めるとともに、常設展示、特別展の開催など魅力ある博物館運営を目指します。「二風谷工芸館や周辺の施設と連携した学習機会の場を設け、来館者への対応を進めます。

(2) 沙流川歴史館

企画展や特別展、講座等を継続的に開催し、関係団体を連携した施設の活用を推進を図ります。展示什器等も必要な整備をしながら、適切な管理運営を継続していきます。

(3) 開拓財産

平取町の開拓当時に使われていた農機具や生活用具を保存し、当時の産業や生活の様子を理解できるように展示に努め、学校教育における総合的な学習の時間や地域の郷土学習など開拓財産の有効活用を推進します。

(4) アイヌ文化伝承活動団体への支援と協力

アイヌ文化の普及啓発を図るため、平取アイヌ文化保存会をはじめとした伝承活動団体への適切な支援と協力を行い、活動の



(2) 成年教育
町民一人ひとりが生涯にわたって学習活動を行うための学習環境づくりを推進するとともに、地域人材の掘り起こしや育成を行い、持続可能な学び合いができる環境を整えます。

(3) 高齢者教育
生涯にわたって豊かで潤いのある生活を送るため、高齢者大学を年間を通じて開催しています。高齢者の新たな学び、仲間づくりや異なる世代との交流ができるように努めていきます。

(4) 読書活動の推進
住民にとって魅力のある蔵書を整備し、必要とする資料を的確・迅速に提供し、その教養・調査研究・レクリエーション等に資することは図書館の基本的使命です。生涯にわたる読書習慣の定着と読書推進を目的とする各種サービスの実施と充実、各学校と連携し、児童生徒の読書活動や学校図書室活動の支援、目的を同じくするサークルやボランティアとの協力連携に努めます。

スポーツ

(1) 各種スポーツ行事 教室の開催

スポーツを通じ、子どもから大人まで地域の交流を図る機会の充実を目指します。

教育長の選任

3月5日(水)、第3回町議会定例会において、教育長に松田拓美氏(63歳)が再任されました。(任期 令和10年3月31日まで)



教育行政報告

松田教育長から教育行政報告がありました。その概要をお知らせします。

町内小中学校の状況

12月20日に中学校、26日に小学校の終業式が行われ、冬休みに入りました。冬休み中は事故等も無く、1月15日、21日に始業式が行われました。
1月、2月にかけて、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等が流行し、学校・学年閉鎖等の措置となった学校もありましたが、感染は拡大することなく、最小限で収まり、学校を再開させることが出来ました。

1月中旬からは私立高校や公立高校推薦等の入学試験が始まり、3月4日・5日には公立高等学校の一般入試が行われたところ。平取高校の出願状況は、地元・道内外から22名となっています。
3月に入り、各学校では卒業生を送る会などが実施され、3月14日には中学校で、3月19日から各小学校で順次卒業式が行われます。

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

児童生徒の体力や生活習慣、食習慣、運動習慣の状況を把握し、体育・健康に関する改善と指導を図るもので、小学校5年生、中学校2年生を対象として実施いたしました。

調査結果では、小学生男女とも上位層の割合が全国に比べて高い状況、中学生は平均値よりやや低い状況になりました。
平取町としては、今後も体育専科教員を活用した指導体制の充実、ICT活用等による体育の授業改善の推進や栄養教諭による定期的な指導、食育の推進などを進めていきます。
(結果詳細は14ページ)

いじめ問題に関する児童生徒の実態把握調査結果

北海道教育委員会が年2回行なっている調査で、昨年11月におけるアンケート調査の結果となりますが、町内小中学校児童生徒323名の回答状況となっています。

4月から「いやな思いをしたことがあるか」との問いに対し「ある」と答えたものは60件で、内容は様々ですが、その回答を重く捉え、学校では早期に担任が中心となり、関係する児童生徒への聞き取りを行い、保護者とも内容を共有し協力するなどして指導し、現在は解決したと報告を受けています。

いじめは、「からかい」や「いじり」など些細なことから重大な事案になることもあり、子どもたちの関係や状況を見守るとともに、「いじめは絶対に許されない行為である」ということを、児童生徒に指導していくよう学校に指示しています。

また、スクールソーシャルワーカーが訪問時には、子どもたちの悩みや相談を受けながら、子ども同士の関係性を把握し、教職員や保護者とも信頼関係を深め、いじめ防止に向けた取り組みを進めています。

体罰に関する実態調査結果

今年1月に小中学校7校の教員、小学校では保護者、中学校では生徒、保護者に対してアンケート調査票を配布し、回収は調査票またはウェブで行い、回答内容の点検、確認作業を終えました。

回答状況では、保護者から「児童を指導する場面で、教師が不適切な言葉を使った」との回答が1件ありました。校長からその教師に対し、聞き取りを行い、事実であったとの確認があり、指導したところです。

今後も各学校において、児童生徒に対する言葉を含めた体罰防止に向け、共通認識を教職員間で図ることの徹底に努めています。

令和6年度平取町教育奨励表彰被表彰者の決定、授与式の実施

本年度の教育奨励表彰は、1月27日開催の教育委員会議において被表彰者の決定をし、2月18日に表彰授与式を実施しました。被表彰者については、先月、イタリヤで開催されたワールド・ユニバーシティゲームズ冬季競技大会の男子ビックエアで優勝、世界一の快挙を成し遂げた藤谷瞭至さんをはじめ、芸術文化奨励7名、スポーツ奨励5名となっています。

令和6年度平取町教育奨励表彰

2月18日(火)、令和6年度平取町教育奨励表彰授与式が中央公民館で行われ、芸術文化奨励7名、スポーツ奨励5名が受賞されました。松田教育長より表彰状および記念品が授与されました。

【芸術文化奨励表彰】

原田啓介(二風谷)

第28回アイヌ語弁論大会イタカンロー大人の部口承文芸部門において最優秀賞を受賞。

島野未慧(荷菜)

東海大学付属札幌高等学校3年佐藤希風(紫雲古津)

第69回北海道吹奏楽コンクール高等学校A編成部門で金賞を受賞、北海道代表に選出され、第72回全日本吹奏楽コンクール高等学校後半の部で金賞を受賞。

金谷美玖(荷菜)

海野春空(去場)

第52回マーチングバンド全国大会北海道代表選考会で金賞・会長賞を受賞、北海道代表に選出され、第52回マーチングバンド全国大会高等学校の部で銀賞を受賞。

前川七星(本町)

山田実空(荷菜)
苦小牧東高等学校1年
令和6年度第74回全道高等学校演劇発表会で最優秀賞を受賞し、第49回全国高等学校総合文化祭演劇部門に出場。



【スポーツ奨励表彰】

川端すみれ(荷菜)

第75回北海道高等学校ソフトボール選手権大会兼第76回全国高等学校ソフトボール選手権大会北海道予選会で優勝。令和6年度第78回国民スポーツ大会北海道ブロック予選会兼北海道体育大会ソフトボール競技で、石狩地区選抜チームの一員として出場し、優勝。

木村結(二風谷)
北海道高等学校3年
第74回北海道高等学校柔道大会女子個人48kg級で優勝。第28回北海道女子ジュニア柔道体重別選手権大会48kg級で優勝。令和6年度国民スポーツ大会北海道ブロック予選会兼北海道体育大会女子52kg級において優勝。

荒木紗依花(荷菜)

苦小牧西高等学校1年
第46回北海道高等学校弓道選抜大会南北北海道大会兼第43回全国高等学校弓道選抜大会南北北海道地区予選会(団体戦)で優勝。第24回東日本高校弓道大会に出場。

川上夢太(紫雲古津)

札幌日本大学高等学校1年
第70回北海道剣道段別選手権大会兼第63回東北・北海道対抗剣道大会選手選考会男子二段の部で準優勝。第44回北海道高等学校新人剣道大会兼第34回全国高等学校剣道選抜大会北海道予選会団体戦1部男子で準優勝。第34回全国高等学校剣道選抜大会に出場。

藤谷瞭至(本町)

札幌大学2年
第32回冬季ワールドユニバーシティゲームズ(2025イタリヤトリノ)スノーボード男子ビックエアで優勝、スロープスタイルで第4位に入賞。

幌尻岳が2024年度日本山岳遺産に認定



日本の山々が持つ豊かな自然・文化を次世代に継承していくために設立された「日本山岳遺産基金」が認定する今年度の日本山岳遺産に、幌尻岳(認定団体 一般社団法人 平取町山岳会)が選ばれました。
平取町山岳会は、1965年に国有林を管理するための避難小屋として幌尻山荘が完成したことをきっかけに結成され、その後半世紀以上にわたり、幌尻岳の登山道整備や使用済トイレの歩荷による荷下げなど環境維持に大変な労力をかけているとともに、町民登山を通して幌尻岳の自然を幅広い世代に伝えていることなど、これまでの健全な活動が高く評価されました。

◆ ご寄附・地域貢献活動に感謝します ◆



株式会社 小金澤組（代表取締役 小金澤昇平氏）より、二風谷小学校校舎裏に階段を設置、グラウンドのアスファルト整備をしていただきました。



株式会社 磯田組（代表取締役 磯田洋一氏）より、令和6年8月豪雨災害復旧作業（普通河川の護岸復旧、町道の崩土除去、法面復旧）をしていただきました。



特別非営利活動法人 奏楽（理事長 岩崎弘昌氏）より、「校歌プロジェクト」による各小中学校校歌集録DVDが全校児童生徒および教職員に贈られました。



株式会社 小金澤組（代表取締役 小金澤昇平氏）より、振内小学校校庭の低木除去、振内交通公園の立木除去をしていただきました。



株式会社 平村建設（代表取締役 平村徹郎氏）より、日高山脈襟裳十勝国立公園幌尻岳の看板の設置（役場庁舎前庭・振内町民センター横）、あわせて老朽化した幌尻岳看板（振内墓地入口）を撤去していただきました。

北海道びらとり会、日高寺檀信徒一同（日高町富川）より、寄附金をいただきました。ご厚意に感謝いたします。

新たに着任された地域おこし協力隊の皆さん



農業支援員（2月1日付）
塩見 卓也 さん 宮澤 匠 さん



高校魅力化コーディネーター（3月1日付）
土佐 千春 さん

2/14 大地連携ワークショップ冬 in びらとり 成果発表会

アイヌ文化に興味のある全国の大学生・大学院生16名が参加し、アイヌ文化に特化したワークショップが、2月10日(月)から14日(金)まで開催されました。

二風谷を中心に木彫りやアイヌ文様刺繍などの体験や地域との交流を基に、最終日には講座のまとめとして、学生の視点から平取町やアイヌ文化の振興に関するグループ発表が行われました。アイヌの食文化を活かした二風谷への誘客や商品開発、公共メディアによるアイヌ文化の魅力発信など、アイヌ文化の理解や関心を高める斬新な提案がありました。



2/15 シシリムカアイヌ文化祭 ～第35回アイヌ文化伝承活動発表会～

2月15日(土)、シシリムカ文化祭が中央公民館で開催され、二風谷アイヌ語教室の子どもたちをはじめ日頃の文化伝承活動の成果が発表されました。

また、第28回イタカンロー口承文芸部門で最優秀賞を受賞した原田 啓介さんの口演、先住民との国際交流事業「ニュージーランド研修」に参加した中学生3名と平取町青少年国際交流事業「ハワイ研修」に参加した平取高校2年生6名から、それぞれ先住民との交流や文化学習の報告がありました。



2/20 介護ICT研修会



少子高齢化が進むなか、平取町においても人材の確保は喫緊の課題です。特に介護職員の人材不足は深刻化しています。直面する問題を解決するために介護職員の身体的負担軽減による雇用環境の改善、離職防止に向け、ICT機器を導入し、「入所したい・働きたいと思える施設づくり」に取り組む特別養護老人ホーム南幌みどり苑施設長 佐久間 竜太氏を招き、最新の介護機器の活用法や先進的な施設運営について研修会が開催され、町内の福祉施設・介護施設職員が一同に会し、今後の業務改善とケアの質向上を学びました。（平取町介護人材確保に係る協議会 主催）

1/15～2/26 格闘技エクササイズ



冬の運動不足解消と脂肪を燃やして代謝アップを実践する格闘技エクササイズが、1月15日(水)から7回にわたり、3地区同日同時に開催され、延べ315名が参加しました。

ボクシングをベースとしたエクササイズで、講師の掛け声と音楽のテンポにあわせ、パンチやアッパーカット、キックを織り交ぜながら、すばやく、切れよく手足を繰り出す動きに、参加者は必死に追いつきながらも、心地よく汗を流していました。

地域みなさんに知ってほしい 地域みらい留学のこと

新しい寮の改修工事が完了しました

・昨年の夏から始めた空き家の片付けと改修工事が完了しました！令和7年度より、新しい寮として運営を開始します。これから家具を運び入れ、地域みらい留学生をはじめとする新しい寮生の受け入れ体制を整えていきます。1年生も、新しい仲間が入ってくるのを今から楽しみにしています♪また、3月には新入寮生向けの説明会も実施しました。



家具を組み立てています

入寮説明会の様子



みんなでスキー場に行きました

・寮のレクリエーションとして、地域みらい留学生全員で日高国際スキー場に行ってきました♪スノーボードに初めて挑戦した地域みらい留学生も、一緒に参加したALTの指導のおかげで、滑れるようになって帰ってきました。とても楽しかったようで、「またすぐにも行きたい！」と言っています。

各SNSでも地域みらい留学生の日常生活や学校生活の様子を発信しています！
3月より新しいコーディネーターが加わり、新体制で頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。（高校魅力化コーディネーター 森山・土佐）



Instagram



Facebook

令和6年度 地域おこし協力隊活動報告会

2月28日(金)、平取町地域おこし協力隊として活動している6名が、この一年間の取り組みを発表する報告会が行われました。報告では、地域の課題に取り組むなかでの苦労や反省、経験を活かしながらさらなる発見など、それぞれが熱心に取り組んでいる姿勢、意欲的に活動している様子が一年間の成果として感じられました。

地域おこし協力隊の活動場所は、都市部にはない自然豊かな環境や独自の文化が残る地域であることが特徴で、まさに平取町は、移住・地域活性化の仕事へのチャレンジができる町です。新しい暮らしのなかで自然や文化、地域住民とのつながり、過疎化が進む地域で新たな戦力として積極的に活躍されることに期待を寄せています。



アイヌ伝統工芸継承支援員
岡本 朋也 さん（2年目）



アイヌ伝統工芸継承者支援員
朝田 雪萌 さん（1年目）



農業支援員
大塚 守 さん（1年目）

2年目となる岡本さんは、イタをはじめ木彫制作を意欲的に取り組み、第58回北海道アイヌ工芸品展で最優秀賞を受賞しました。

また、木彫体験や講習会、実演などの講師としても活動の場を広げるとともに、アイヌ語講座にも積極的に参加しています。

なお、平取高校学生寮ハウスマスター 野口 勢津子さん（1年目）は、オンラインで報告されました。



高校魅力化コーディネーター
森山 敬子 さん（1年目）



平取高校学生寮ハウスマスター
里見 結子 さん（1年目）

大切な地域の風景「文化的景観」

北海道平取町〈アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観〉は、国の重要文化的景観のひとつに選ばれています。

文化的景観を普及するための様々な取り組み

令和6年度は、全国文化的景観地区連絡協議会（文景協）平取大会が行われた年であると同時に、文化的景観の制度が創設されて20年の節目でもありました。文化的景観20年の関連事業は平取町と文景協、文化庁で連携して行われています。様々な企画のひとつとして、平取町の重要文化的景観を紹介する映像が作成されました。

【文化庁発】制度創設20年企画「文化的景観へ行こう!」は、地方公共団体の担当者とともに重要文化的景観の魅力を紹介する動画で、令和7年3月現在で6作品がYouTubeにアップロードされています。平取町は「第6回アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」として17分30秒の動画が編集されました。主な内容は令和6年10月に行われた文景協平取大会の様子となっていますので、その時の良い雰囲気も含めぜひご覧ください。



動画はこちらから

教育委員会からのお知らせ

ミニ理科教室 in 放課後子ども教室



実験やものづくりを通して、科学の世界に興味・関心をもってもらうことを目的として、放課後子ども教室でミニ理科教室を実施しました。

貫気別教室は11月21日(木)、二風谷教室は1月30日(木)、紫雲古津教室は2月27日(木)にそれぞれ実施し、延べ48名の児童が参加しました。

1つ目の実験は、着色した水と油、そして入浴剤を使った炭酸マグマの実験です。まず、水に液体着色料を入れます。きれいに色のついた水に、子どもたちから歓声が上がり、次に油を入れて最後に入浴剤を入れると、炭酸の泡が着色した水を上にある油の方にブクブクと押し上げる様子に、さらに大きな歓声があがりました。

2つ目は、指紋を採取する実験です。クリアファイルに指を押し当て、粉を静かにふっていきます。うまくできた子は「見てみてー」と得意気に、うまくできなかった子は「もう一回やりたい!」と、今度はしっかりと採取できるようにチャレンジしていました。

どの教室でも子ども達の元気があふれ、楽しいミニ理科教室でした。



貫気別教室



紫雲古津教室



二風谷教室

高砂・義経二大学合同学園祭

教育委員会では健康や生きがいづくりを目的に、振内・本町の町内2地区で高齢者大学を開設し、講演会やレクリエーションなどの学習活動を行い、楽しく交流しています。

2月20日(木)には、1年間の活動の集大成として、平取町中央公民館で二大学合同学園祭が開催されました。

学園祭では、日頃の練習の成果を発揮し、大学ごとに行う合唱をはじめ、舞踊やカラオケなど18演目が披露されたほか、普段から各学生が取り組んでいる絵手紙や手芸、写真などの素晴らしい作品が展示され、来場者を楽しませていました。

最後は全員で「平取音頭」を輪になって踊り学園祭を締めくくりました。



義経大学 合唱「ふるさと」「涙くんさよなら」



高砂大学 ダンス「お嫁サンバ」

小学5年生の体力合計点は全国平均以上！ 全学年 柔軟性に課題！

～令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から～

今年度の一学期に文部科学省は、児童・生徒の体力・運動能力の状況を的確に把握し、体力向上に向けた取り組みを充実させるため、全国の小学校5年生と中学校2年生の児童生徒を対象に「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施しました。その調査結果が1月に公表されました。この調査結果を基にした平取町の児童生徒の各種目における概要は、下表のとおりです。

*全国平均を50としての比較：小学校5校5年生（男子17名、女子23名）

中学校2校2年生（男子17名、女子19名）

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
相当高い +7以上								5男	
高い +5～+7							5男	5女	
やや高い +3～+5							2男		5男
ほぼ同様に上位 +1～+3	5男			5女	5女		5女	2女	
ほぼ同様に -1～+1	5女2男	5女2男		5男	5男	2男	2女	2男	5女
ほぼ同様に下位 -3～-1	2女	5男	5女	2男2女		5男			2男
やや低い -5～-3		2女	5男		2男2女	2女			2女
低い -7～-5			2女						
相当低い -7以下			2男			5女			

※5：小学校5年生、2：中学校2年生 「ボール投げ」：小5はソフトボール投げ、中2はハンドボール投げ

■総合評価（体力合計点：上位からA・B・C・D・E）

	A	B	C	D	E
小5男子	6.7%	46.7%	26.7%	13.3%	6.7%
全国	10.3%	21.8%	32%	23%	12.9%
小5女子	8.7%	30.4%	30.4%	21.7%	8.7%
全国	12.5%	23.3%	33.4%	22%	8.8%
中2男子	13.3%	6.7%	40%	26.7%	13.3%
全国	9.5%	25.2%	34.4%	22.4%	8.5%
中2女子	12.5%	31.3%	25%	18.8%	12.5%
全国	24.6%	28.5%	27.7%	15.3%	3.9%

*小学校5年生男子は、昨年度に引き続き、上位層の割合が全国に比べて高い状況にあります。小5女子も上位層の割合が全国より高い状況です。

*中学校2年生男子はCランクが最も多く、最下位層が高くなっています。女子はBの人数は高いですが、最下位層も高くなっています。

*種目別に見ると、例年同様に50m走の走力、長座体前屈が全国平均に比べ劣っていますが、立ち幅とび・ボール投げは全国平均以上の結果となっています。

【質問紙調査結果から－平取町の傾向】

○運動するのが好き — 小5男子76.5%(全国73.0%)、小5女子65.2%(全国54.8%)
中2男子64.7%(全国65.5%)、中2女子26.3%(全国43.2%)

○1日(平日)のスクリーンタイム(TV、スマホ、ゲーム等)

	1.5h～	2.4～5h未満	3.3～4h未満	4.2～3h未満	5.1～2h未満	6.1h未満	全く見ない
小5男子	47.1%	17.6%	23.5%	0%	6.8%	5.0%	0%
小5女子	13.0%	17.4%	17.4%	21.7%	17.4%	13.0%	0%
中2男子	35.3%	11.8%	17.6%	35.3%	0%	0%	0%
中2女子	26.3%	10.5%	15.8%	21.1%	26.3%	0%	0%

◆「運動が好き」という割合は、小学生の方が高く、1日のスクリーンタイムは、中学生の方が長い結果となっています。規則正しい生活を心がけ、日常的に体を動かす工夫をすることが大切です。

平取町としての体力向上策（各学校・関係団体等での主な取り組み例）

- ◆全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び新体力テストを活用した検証改善サイクルの確立（小中学校における新体力テストの全学年全種目実施による実態把握と共有）
- ◆体育専科教員を活用した指導体制の充実とICT活用による体育の授業改善の推進
- ◆一校一実践の積極的な推進及び運動の日常化への取組みの強化
- ◆栄養教諭による定期的な指導及び教育活動全般を通じた食育の推進

カーリング授業
(振内小学校)



図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30 ～ 18:00
土・日曜日 9:30 ～ 17:00

○休館日 月曜日・祝日
※月曜日が祝日の場合は、
その翌日も休館



新着図書

★他にもあります
★オンラインで検索できます

【一般書（小説）】

『そして少女は、孤島に消える』／彩坂美月
『追跡』／伊岡瞬
『天地震撼』／伊東潤
『しずかなパレード』／井上荒野
『spring』／恩田陸
『死んだ山田と教室』／金子玲介
『図書館の魔女 高い塔の童心』／高田大介
『おぼろ迷宮』／月村了衛
『小説』／野崎まど
『月収』／原田ひ香
『C線上のアリア』／湊かなえ
『猫の刻参り』／宮部みゆき
『禁忌の子』／山口未桜
【児童書】
『十年屋8』／廣嶋玲子
『はりねずみのルーチカ』(13)
／かんのゆうこ
『小学生のための図解歌舞伎じ
てん』／「江戸楽」編集部
『たんぽぽはひとがすき』
／埴沙萌・写真 嶋田泰子・文
『トマト裁判の判決はどっちだ?』
／キム・ファン
『じんせいはしがみついてなん
ぽです』／木坂涼

【一般書（その他）】

『イスラエルについて知ってお
きたい30のこと』／早尾貴紀
『地下鉄サリン事件はなぜ防げ
なかったのか』／垣見隆
『どうして「体育嫌い」なんだろう』
／井谷恵子
『何歳からでも目がよくなる方法』
／平賀広貴
『肝臓大復活』／栗原毅
『発明が変えた世界史』
／祝田秀全
『50センチ以内で作るミニキル
ト歳時記』／日本ヴォーグ社
『ワクワク楽しい!手づくり楽器』
／千光士義和
『マンガの原理』／大場渉
【絵本】
『おべんともっておはなみに』
／こいでやすこ
『てのひらをたいように』
／やなせたかし
『トト』／海野あした
『にくのくいーん』／はらぺこめ
がね
『ふしぎなくも』／荒木健太郎
『ももたろう』／たなかひかる
『やばっ!』／トミー・ウンゲラー

図書館カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

新着DVD紹介

【映画（邦画）】

『あの花が咲く丘で、君とまた出会え
たら。』
『いまダンスをするのは誰だ?』
『男はつらいよ』41～48
『男はつらいよ 寅次郎ハイビスカス
の花 特別編』
『九十歳。何がめでたい』
『52ヘルツのクジラたち』
『ゴールデンカムイ』
『マリッジカウンセラー』
『めんたいぴりり パンジーの花』
『レジェンド&バタフライ』
【ドキュメンタリー】
『明日、君を食べるよ』（舞台）
『エターナルメモリー』
『バンクシー 抗うものたちのアート
革命』
『松岡享子 お話の種まきをした人』
『夢は牛のお医者さん』

【アニメ】

『ウィッシュ』
『映画すみっコぐらし ツギハギ工場
のふしぎなコ』
『かいけつゾロリ ラララスターたん
じょう』
『君たちはどう生きるか』
『ふるさと日本の昔ばなし』
（一寸法師ほか）（金太郎ほか）
『屋根裏のラジャー』

【お問い合わせ】平取町立図書館

☎ 電話 01457-4-6666
☎ FAX 01457-4-6871
✉ メール risu2@guitar.ocn.ne.jp
■Web ■携帯



すこやかだより

令和6年度食育推進事業の取り組み

【お問い合わせ】 保健福祉課 保健推進係
(ふれあいセンターびらとり ☎4-6114)

～新規食育事業～ フードロス削減セミナー



平取町では、食品ロスの削減についての認知度は87.3%
(R3 健診受診者調べ: R3 消費者庁80.9%より高値)と関心
は高く、76.5% (1位: 冷凍食品を活用する。2位: 賞味期限
切れでもすぐ捨てずに、自分で食べれるか判断する。)が意
識的な取り組みをしている状況です。取り組みのなかで回
答の多かった冷凍食品の活用について、より具体的な工夫
点や方法を学び、さらにフードロス削減の取り組みの機運
を高めるため、2月16日(日)に野菜ソムリエ上級Proの高橋
道子氏を講師に招き、本セミナーを開催しました。

一般町民・関係者含め20名の参加があり、フードロス削
減の取り組みの現状やフードロスになりやすい野菜につい
ての活用法などの講話、トマトやきゅうり、きのこなどの冷
凍野菜を実際に活用したメニュー (5品を調理実習+ 試食
メニュー2品 計7品)の調理・試食を通じ、冷凍すること
で栄養価が高くなるきのこ類など、平取町で時季にたくさ
ん採れる野菜の冷凍活用法を知ることができた貴重なセミ
ナーとなりました。

子どもたちの「食」を通じた

生きる力を育む食育事業 びらとり食育クラブ

令和4年度より、小学生～中高生までを対象とした栄養
講話や調理実習・試食など「食」の体験ができるクラブで、
低学年の部 (小学1～4年生)・高学年の部 (小学5年生
～中高生)に分かれ、各年5回実施しています。今年度は、
「一汁三菜について」や「朝ごはんづくりに挑戦」「ヘルシー
弁当づくり」などのほかに、「寒締めほうれん草の収穫体
験・調理試食」を実施しました。(今年度は収穫体験2回を
追加し、計7回)

冬の寒いビニールハウスで、農家さんのお話を聞き、ほう
れん草の収穫・袋詰め体験では、大きくて立派なほうれん
草を広いハウス中を探し歩いたり、自分で収穫したほうれ
ん草を袋にいっぱい詰めようとしたり、とても楽しく体験
することができました。

野菜や肉・卵など平取町の特産品について知ることがで
き、実際においしさを体験するだけでなく、身支度や調理・
後片づけなど一連の作業を体験し、学ぶことのできるよい
機会になっています。普段、家庭で調理のお手伝いなどをし
ていないような子も、繰り返し調理作業をすることで、包丁
の使い方や炒めるなどの調理作業に少しずつ慣れ、覚えて
いく様子や手際がよくなってくるなど、見事な子どもたち
の成長が感じられるクラブです。



★★★ 図書ワゴン運行予定 ★★★

■次回 4月3日(木)

【振内地区】 10:00～12:00 山の駅ほろしり館
【貫気別地区】 14:00～16:00 貫気別生活館
■貸出期間は次回の巡回日までになります。
■毎月第一木曜日に運行します。
■貫気別支所・振内支所 (青少年会館) で返却できます。



役場関係
電話番号

- 平取町役場 総務課(代表) ☎ 2-2221
- まちづくり課 ☎ 2-2222
- アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
- 観光商工課 ☎ 3-7703
- 産業課 ☎ 2-2223
- 農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
- 税務課 ☎ 2-2224
- 出納室 ☎ 2-2225
- 建設水道課 ☎ 2-2226
- 議会事務局 ☎ 2-2227
- ふれあいセンターびらとり ☎ 4-6111
- 町民課 ☎ 4-6113
- 保健福祉課 保健推進係・子育て支援係 ☎ 4-6112
- 介護支援係・介護保険係 ☎ 4-6114
- 児童館 ☎ 2-3026
- 子ども発達支援センター ☎ 2-3400
- 地域包括支援センター「ほほえみ」 ☎ 2-3700
- 平取町教育委員会 生涯学習課 ☎ 2-2619
- 中央公民館 ☎ 2-2619
- 町民体育館 ☎ 2-2749
- 二風谷アイヌ文化博物館 ☎ 2-2892
- 沙流川歴史館 ☎ 2-4085
- 図書館 ☎ 4-6666
- 役場振内支所 ☎ 3-3211
- 役場貫気別支所 ☎ 5-5204
- 平取町国民健康保険病院 ☎ 2-2201
- 平取町社会福祉協議会 ☎ 4-2267
- 平取町外2町衛生施設組合 ☎ 2-2024
- 平取消防署 ☎ 2-2361

今月のワンショット



闇バイト強盗防犯啓発

深刻な社会問題となっている「闇バイト」による犯罪。小さな町でも起こりうるという危機意識を高めようと、3月3日(月)に国保病院玄関前で防犯啓発活動が行われました。

まちの人口と世帯数

(前月比)			
人 口	4,427 人	(△ 10 人)	
男	2,178 人	(△ 10 人)	
女	2,249 人	(△ 0 人)	
世帯数	2,375 世帯	(△ 5 世帯)	

※令和7年2月末現在の住民基本台帳による

戸籍の窓口

檜の実俳句会

けたたまし鴨鳴く声に目覚めけり
杖つきて古巣の施設訪ぬ春
ひとり居に雛を飾れば大家族
ディサービス皆でゲームの春うらら
路のとうそろそろあくびし始める
待春や旅の計画地図広ぐ
寒明ける空も大地も吾輩も
雪解けの国道をゆけ郵便よ
雪解けに春の息吹を待ち侘びる
春探し競う窓辺の我と猫
雲の峰夕日を浴びて三月へ
冬草やハウスの隅に青く生え

内海 綾子
遠藤 紫光
加藤えい子
川上八重子
熊谷 厚子
千葉 俊子
長野 新一
西 希
野口勢津子
古久保李莉
道政サツ子
渡辺 正子

ふるさと納税寄附

令和7年2月寄附件数・寄附金額
427件 9,960,400円
令和6年度累計
(4月1日～2月28日まで)
12,229件 275,389,900円



ホームページ
QRコード